

「セクシュアリティ、エコロジー、スピリチュアリティ」のレビュー年) (Sex, Ecology, Spirituality) by Ken Wilber 2nd ed. 851p (2001) (2019年のレビュー改訂)

Michael Starks

抽象

この巨大な専門用語を積んだ(この本は本当に用語集が必要です!)、重い学術的な仕事を受けた世界でベストセラーになったことは驚くべきことであり、フィッティングです。専門用語を学び、551ページのテキストと238ページのノートを耕すために専用する必要があります。私たちは何度も何度も言われていますが、これは来るものの輪郭に過ぎないと言われています!

彼は3つの運動の行き過ぎを厳しく批判するが、これは非常にリベラルで精神的な観点から、宗教、哲学、行動科学の非建設的でNew年齢の神秘的でポストモダンな解釈である。

彼は哲学、心理学、社会学、宗教の様々な世界観を詳細に分析し、彼らの致命的な還元主義的欠陥を(主に)ケアと輝きの気持ちで暴露するが、彼が分析する情報源のほとんどは今日はほとんど関連性がない。彼らは20年前に研究と執筆をしていたときにすでに時代遅れだった用語や概念を使用しています。一つは、専門用語の無限のページをスローする必要があります - ハーバース、カント、エマーソン、ユング et.al の議論を積んだ。真珠にたどり着くために。

あなたは悪い書き込み、混乱し、時代遅れのアイデアと時代遅れの専門用語の素晴らしいサンプリングを得る。

現在の教育が良ければ、この本を読むのは二重に苦痛です(そして、ほとんどの人間の行動に関する書き込み)。それは非常に拷問と混乱しているので、痛みを伴う、そして、あなたがそれが現代の心理学と哲学でいかに単純であるかを認識したときに再び。用語とアイデアは恐ろしく混乱し、日付が付いています(しかし、ウィルバー自身の分析では、彼の情報源よりもそれほどではありません)。

著者のほとんどはそれに気づいていませんでしたが、この本とその情報源のほとんどは心理学のテキストです。それは、なぜ私たちが私たちがどのように考え、行動するのか、そして将来どのように変わるのかについて、人間の行動と推論についてです。しかし、(最近までそのような議論のように)説明のどれも本当に説明ではないので、彼らは人間の行動に関する洞察を与えなくなります。誰も関係する精神的なメカニズムについて議論しません。これは、ステアリングホイールについて話し合うエンジン、燃料、またはドライブトレインの知識なしに、ハンドルと金属と塗料について議論する車の仕組みを説明するようなものです。実際には、ほとんどの古い'説明'の行動と同様に、テキストはここでdを引用し、Wilberによるコメントは、多くの場合、彼らが説明として受け入れる(そして省略する)ものの種類、そしてhey 実際のコンテンツよりも推論の種類のためにより興味深いです。

哲学と認知と進化心理学に取り組むならば、そのほとんどは古風です。ほぼすべての人(学者と公共の人)と同じように-e.g.、デネットの自由の進化や他の本の私のレビューを参照してください)、彼は宗教と倫理の基礎を理解していない - 実際には、すべての人間の行動は、私たちの遺伝子にプログラムされています。彼が多くの本を書いている間、私たち自身を理解する革命が起こり、それが彼を通り過ぎました。

現代の2つのシス・エムスの見解から人間の行動のための包括的な最新の枠組みを望む人は、私の著書「ルートヴィヒ・ヴィトゲンシュタインとジョン・サールの第2回(2019)における哲学、心理学、ミンと言語の論理的構造」を参照することができます。私の著作の多くにご興味がある人は、運命の惑星における「話す猿--哲学、心理学、科学、宗教、政治—記事とレビュー2006-2019 第3回(2019)」と21世紀4日(2019年)の自殺ユートピア妄想st Century 4th ed (2019)などを見ることができます。

「はっきり言えるものは何でも言える」ルートヴィヒ・ヴィトゲンシュタイン

「彼は崇拜し、地球は非人道的である - 彼らはわらの犬として無数の生き物を見る」 タオ・テ・チン

この巨大な専門用語を積んだ(この本は本当に用語集が必要です!)、重い学術的な仕事が教育を受けた世界でベストセラーになったことは驚くべきことであり、フィッティングです。専門用語を学び、551ページのテキストと238ページのノートを耕すために専用する必要があります。一方、私たちは何度も何度も、これは来るものの概要に過ぎないと言われています!

著者のほとんどはそれに気づいていませんでしたが、この本とその情報源のほとんどは心理学のテキストです。それは、なぜ私たちが私たちがどのように考え、行動するのか、そして将来どのように変わるのかについて、人間の行動と推論についてです。しかし、(最近までそのような議論のように)説明のどれも本当に説明ではないので、彼らは人間の行動に関する洞察を与えなかった。誰も関係する精神的なメカニズムについて議論しません。これは、エンジンやドライブトレインの知識なしにハンドルと金属と塗料とホイールを議論することによって、車の仕組みを記述するようなものです。実際、ほとんどの古い説明の行動と同様に、ここで引用されたテキストとWilberのコメントは、実際のコンテンツよりも、説明nsとして受け入れる(そして省略する)ものの種類と、それらが使用する推論の種類についてより興味深いことがよくあります。

すべての推論と説明と同様に、どの脳推論エンジンが活性化され、結果を生み出すために活性化され、自動化された言語前システム1(S1)とゆっくりと思考思考の思考の審議言語システム2(S2)が関与しているか、そして合理的な論理的構造は何であるかを説明する(またはむしろウィトゲンシュタインが主張したように記述する)行動を知りたいと考えています。各エンジンに適したデータとして入力できるものの種類を決定するS1の関連性フィルタ(反射プロセス)と、その脳が言語で高次発現のためにS2に何を渡すかを決定します。

認知心理学と進化心理学はまだ完全な説明(説明)を提供するのに十分に進化していませんが、興味深いスタートが切れました。ポイヤーの「宗教は説明された」は、2002年の時点で人間の行動の現代的な科学的説明がどのようなものかを見るのに良い場所 as of 2002です(しかし、それは完全に悟りを見逃しています!ピンカーの「心の仕組み」は良い一般的な調査であり、彼の「空白のスレート」(私のレビューを参照)は、人間の行動における遺伝環境問題の最良の議論です。彼らは、説明するすべての知性や思考を説明するのではなく、知られていることを要約します。最近のテキストのいくつかを参照してください (i.e.2004年以降)、タイトルに進化心理学(とりわけ「進化心理学ハンドブック」2nd by Buss)またはウェブでさらなる情報を取得。

私たちは今、芸術、音楽、数学、哲学、心理学、社会学、言語、宗教の基盤がS1のテンプレートまたは推論エンジンの自動機能に見ついていることを認識しています。私たちはcan 類似点やパズルや矛盾や不完全さを期待することができ、多くの場合、行き止まりは、実験や哲学的(言語的)分析によって慎重な調査なしで、それは私たちには見えない('Searleの表現型錯覚')。脳には一般的な知性はありませんが、多数の特殊なモジュールがあり、それぞれがいくつかの問題の特定の側面に取り組み、結果が追加され、行動につながる感情が生じます。ウィルバーは、誰もがそうであるように、資源蓄積、小グループの連合、社会的交流、他者の意図の評価などに対処するために進化した彼自身の推論エンジンの操作と一致する説明を生成または認識することができます。彼らが哲学と科学を生み出すことができるのは驚くべきことであり、彼らが意識や選択や精神性を生み出すためにどのように協力するかを考えることは手の届かないところにあることは驚くべきことではありません。

ウィルバーは本の虫であり、彼は古典的で現代的なテキストを分析するために何十年も費やしてきました。彼は非常に明るく、明らかに彼自身の目覚めを持っており、また、東洋の宗教だけでなく、誰のミニチュアを知っています。この本を書くことができる人は、世界に一握り以上あるのではないかと思います。しかし、これはあなた自身のためにあまりにも賢く、知的な歴史と何百もの困難な本について読み、分析し、書く能力が死んだ過去に彼を悩ませた古典的なケースです。

彼は3つの運動の行き過ぎを厳しく批判していますが、これは解体であり、New年齢神秘的でポストモダンな宗教の解釈です。哲学と行動科学は、非常にリベラルで精神的な観点から、すなわち、デコン、pmとNAMの専門用語、反-科学的反知性-主義、抑圧的な狂犬病のネオマルクス主義者第三世界至上主義Eガリタリアニズムの最悪のデコンなしで、西洋の低階級の騒ぎに権力を引き渡すことによってアメリカと世界を破壊している

ポイヤーは、恐怖と貧困が安全保障と富に道を譲るとき、推論エンジンの結果が変わり、敵対的な宇宙の強力な神々のための和解の儀式から慈悲深いもの(すなわち、ニューエイジの神秘主義など)で自己エンパワーメントとコントロールに変わる宗教を見つけると指摘します。).

彼は哲学、心理学、社会学、宗教の様々な世界観を詳細に分析し、彼らの致命的な還元主義的欠陥を(主に)ケアと輝きで暴露するが、彼が分析する情報源のほとんどは今日疑わしい関連性がある。彼らは20年前に研究と執筆をしていたときにすでに時代遅れだった用語や概念を使用しています。一つは、専門用語の無限のページをスローする必要があります - ハーバーマス、カント、エマーソン、ユング et.al の議論を積んだ。真珠にたどり着くために。彼はフロイトと夢の精神分析的解釈(例えば、p92)に没頭していますが、ほとんどの人はこれらを単なる知的歴史の風変わりなアーティファクトとみなしています。

to date 哲学と認知と進化心理学に関する最新のものであれば、そのほとんどは古風です。ほぼすべての人(学者や一般の人々、例えば、デネットの自由の進化や他の本の私のレビューを参照してください)と同様に、彼は宗教と倫理の基礎、実際にはすべての人間の行動が私たちの遺伝子にプログラムされていることを理解していません。彼が多くの本を書いている間に自分自身を理解する革命が起こり、私は彼の最新作を読んでいませんが、それは主に彼を通り過ぎました。

現在の教育が良ければ、この本を読むのは二重に苦痛です(そして、ほとんどの人間の行動に関する書き込み)。それは非常に拷問され、混乱し、現代の心理学と哲学でそれがどれほど簡単であるかを認識したときに再び痛みを伴います。用語とアイデアは恐ろしく混乱し、日付が付いています(しかし、ウィルバー自身の分析では、彼の情報源よりもそれほどではありません)。私たちは今、約10万年前に進化した認知テンプレートの観点から考えています(ほとんどの場合、元の形で数億年前)。彼らは自動的に動作し、意識にアクセスできないし、彼らは深刻に個人や社会のための行動の選択肢を制限する豊富な証拠があります。彼の新しい序文はそのような研究の1つを書き込むが、本は完全な書き換えを必要とする。

私たちの行動はすべて私たちの生理学と同様に、すべての行動がその根源遺伝子に基づいているという事実にもかかわらず、自然の一部として自分自身を受け入れることに対して私たちの中には非常に抵抗があります。私たちの考えと同様に、これらの感情は認知テンプレートの操作によるものなので、おそらくそれは生物学的説明と責任を負う私たちの自動直感的な心理学や社会的マインドシステム(私たちの言語の慣習や文化の明白さとサールが「神体錯覚」と呼んでいる私たちのオートマチズムの不透明度)との間の競合です。これらの遺伝子システムは何十万年も何百万年も間動作しており、科学からの新しいデータは、彼らの操作の結果(何をすべきかについての私たちの感情)が私たちの複雑な現代の世界でしばしば間違っていることを教えてくれます。この新しい視点から、社会的、経済的、政治的行動に巨大な研究プログラムがあります。

あなたが必要とするいくつかの専門用語は、常に使用されるビジョンロジックがポストフォーマル認知またはネットワークロジックまたは積分観論である(すべての視点が等しく、考慮されなければならない)ことを見つける新しい序文の pg xi にあります。彼はまた、ポストモダン宣言をここに述べています:すべての見解は等しく、無限の文脈に依存し、単なる解釈に依存しています。彼が非常に詳細に述べるように、これは多くの非合理的で支離滅裂な暴言につながる滑りやすい斜面に1つを置き、それには非常に基本的な欠陥があります。それにもかかわらず、それは事実上数十年間米国とヨーロッパの大学を引き継ぎ、ネオマルクス主義の第三世界至上主義Eガリタリアニズムに変身し、死ぬどころか死んでいません。また、p528からエロスの彼の定義が必要になります。

あなたは悪い書き込み、混乱し、時代遅れのアイデアと時代遅れの専門用語の素晴らしいサンプリングを得る。p52には、心理学と言語の推論エンジンが成熟するにつれて発達するジャック・オブソンと、進化は進化であり、細胞は細胞であり、(p71)生物が進化するにつれて環境が変化するというJantsch(p58)の段落に置き換えることができるという引用があります。フォーコーからブック2(p327)を開くという引用があり、解体から翻訳された「知識は世界を理解するのに役立つ」と述べています。

ルパート・シェルドレイクからの長い引用(p60-61)があり、それが全く理解できる場合、タンパク質として翻訳するのはタンパク質であり、細胞は細胞であると言います。ハーバーマスからは言語災害が数多くありますが(例えば、時間を無駄にする場合は、p77または150の引用を考え出してみてください)、実際にはp153-4のように、人々はモラルを持っていると言う翻訳可能なものがあります。そして、ウィルバー自身からこれの多くは、彼がほとんどの突然変異と組み換えが失敗し、生存者が彼らの周辺と互換性があると言うためにページのほとんどを費やしているp109のようにn。サールの仕事と知り合いにもかかわらず、彼はしばしば意識について語っている。彼は(p117-8)私たちが望むものは何でも意識的なものと見なすことができると言いますが、明らかに、目と脳を持つ動物の領域を離れて歩き回ると、それは冗談になります。同様に、彼は私たちの内部と他の人の心を解釈する必要性を議論するとき、非常に薄い氷の上にあります。サール、ヴィトゲンシュタイン、認知心理学を知っていれば、これは非常に

的外れです(私の他の著作を参照)。意識eの説明が間違っているのと同じ理由で間違っているp742のオオカミの「説明」と賢明に感じ。心と精神が物理学に基づいていることは事実でなければなりません(少なくとも分かりやすい代替手段はありません)、私たちはこれを概念化する方法やそのような概念を認識する方法さえ知りません(すなわち、言語ゲームや満足の条件は不明です)。多くの人は、私たちはこれを決して理解しないが、むしろ宇宙の基礎と物事がどのように、同様に受け入れるだけの問題だと思う(例えば、カクの「ハイパースペース」とデネットの私のレビューを参照)。

彼のメモ(p129)は、文化研究はほとんど前進していないが、彼も彼の情報源も、彼らがそうする枠組みを欠いていることを理解しておらず、典型的には彼らが空白のスレートの無菌の考えを受け入れたからです。彼らは事実であり、科学的であっても、彼らは常にファンタジーに飛び込みます。彼はポストモダニズムの偉大な仕事として芸術、科学、道徳の統合を強調し、彼と他の人たちはつながりを作り、思考と生活のための一貫した計画にすべてを整理するために膨大な長さに行きます。しかし、私はこれが可能である本当に有用な意味を見ることができません。人生はチェスのゲームではありません。芸術や道徳の限られた領域でさえ、これらはそれらを一緒に描く人間の経験の一部であること以外の何かがあることは全く明らかではありません、すなわち、遺伝子は脳と無意識の自動システム1ルールを作ります。絵画や彫刻、衣類や建物をアートブックに入れ、人物を貼り付けることができますが、これは本当にどこにでも私たちを得ていますか?現代の2つの思考システムと合理性の論理的構造を使用して行動を記述する方法の詳細については、私のレビューを参照してください。ポイヤール (私のレビューを参照)は、宗教のようなものがあるずっと前に進化した多くの異なる機能に役立つ脳システムの複合体による宗教の詳細を示しています。

脳には、データを取り込み、整理し、リアルタイムで他のデータに関連付ける多数のテンプレートがありますが、それぞれが特定の目的を果たし、それらのpursはART、道徳、宗教、SCIENCEではありません。

認知心理学は、私たちが行動を生み出すために同時に働く多くのモジュールを持っており、多くの理由で多くの点で人々と関係があることを示しています。一つの基本的な機能は、連立直感です。これは、私たちのグループへの入り口と他のグループとの相互作用を導く感情を与えてくれます。私たちは、5分前に会ったランダムに選ばれた全くの見知らぬ人で構成されている場合でも、私たちのグループの資質を自動的かつすぐに過大評価します。同様に、我々はすぐに他のグループの人々の良い資質を過小評価し、我々は常に密接に遺伝的に関連する人を強く支持します(自然選択のための他の名前である親族の選択または包括的なフィットネス)。

これと他たくさんの自動化はガイドし、一般的に個々の行動、グループ、国家、世界を支配しますが、ごく最近まで誰もこのことを本当に理解していません。だから、プラトンからカント、ハーバーマスまで、ほとんどすべての情報源が暗闇の中をさまよっていて、ウィルバーが森から出て行く道を見つけようとする懐中電灯で必死に走り回っているのは驚くべきことではありません。

彼は(p199)、これまでの唯一の深刻な世界的な社会運動はマルクス主義であったが、その致命的な欠陥は還元主義だったと考えていると指摘する。事実上すべての現代社会(そして彼の情報源のほとんど、そしてこの本の大部分)と同様に、人間性と基礎生物学を否定した(または無視または理解できなかった)ことに注意することははるかに熱心なようです。ほとんどの社会制度や理想(平等と民主主義を含む)に同じ欠陥があることに誰も気付かないようです。人間性、環境、未来についての議論は無限ですが、現実はずべてのファンタジーを通して食べる酸です。リンカーンを言い換えると、あなたはすべての時間とすべての人々の一部をだますことができますが、いつでも母なる自然をだますことはできません。暴徒は資源を蓄積し、その遺伝子を複製するようにプログラムされ、これは文明の崩壊を意味します。ネオマルクス主義、多様性、民主主義、イスラム教、ヒンズー教、仏教、キリスト教、社会正義、人権は、この手段であり、何も抵抗することはできません。

彼は知的歴史(哲学、心理学、宗教、生態学、フェミニズム、社会学など)を詳述し、ほぼすべての人が上昇(精神または宗教生活のみ)または降下(科学、唯物論、還元主義またはフラットランド)の方向に行き過ぎた場所を示しています。彼は感覚と魂(精神的、物質的な生活、科学と宗教、内外、個人と社会)を組み合わせることによって亀裂を癒す方法を示そうとしています。すべては他のすべてに関連しています(ホルチーズのホロン、すなわち、ネストされた階層の物—彼の定義についてはp26,135を参照してください)。

啓蒙の時代は精神、個人、インテリアの生活を否定したが、芸術、道徳、科学を発展させ、民主主義、フェミニズム、平等、生態学につながった。この還元主義は、知性と精神を科学、合理性、唯物論のフラットランドに圧縮しました。彼は啓蒙時代の精神的視点の喪失を、現代のティム・エスの倦怠感に対して可能な大きな要因として見ているが、「真の精神性」または「高度な宗教」—私の用語(i.e.「原始的な宗教」(他のすべてはポイヤールを参照)とは

対照的に、啓蒙の探求はまれでした。それは彼が万能薬と見なす高度な宗教ですが、それは大衆理解するの原始的な宗教であり、それはまた唯一物論的な目標(お金、力、そして遺伝子を複製するために役立つ他のすべての)を持っています。

彼は、イエスが仏陀や他の多くの人々と同じ意味で神秘的だったことを理解しています、カトリック教会になるために何が主に彼の神秘的な側面と啓蒙のための個人的な検索をロイドnd -例えば、グノースティズム、原始的な宗教を支持して、司祭、ティテスと構造は、ローマ軍に一見モデル化されたように見えます (p363)。しかし、初期のキリスト教の教会では、ほとんどの宗教に関しては、認知テンプレートは遺伝子の使用人であり、啓蒙はメニューにはありませんでした。イエスはクリスチャンではなく、聖書も持っておらず、仏陀と同じように神を信じませんでした。私たちはイエスの本当の知性のないキリスト教を持っており、彼が詳細に説明するように、これはフラットランドでの西側の長期滞在の原因の一つです。私はクリスチャンでも神論者でもありませんが、西洋の精神性のモデルとして働くはずだった啓蒙されたマスターが、彼自身の信者によって個人的な啓蒙のビジョンを破壊し、歪めたことは、歴史の中で最も悲しいことの一つです(しかし、もちろん、彼らは本当にHISの信者ではありません)。グノースティクスとナグハマディの原稿、そして何よりもオショのトーマスの福音に関する言説を見てください。

最近までみんなと同じように、彼が議論する多くの著者は、人間の行動に関する本当の説明を欠いていた。なぜ私たちがそのような考えや行動を持っているのか、そして一貫した解決策を持っていなかった少数の人々を尋ねることはめったに起こりませんでした。

彼はジョン・サールの素晴らしい哲学のいくつかを読み、認知心理学の研究への言及を渡していますが、that he ヴィトゲンシュタインを研究することなく哲学、オショを読んで彼のビデオを見ることなく宗教、そしてブス、トゥービー、Cosmidesらなしで心理学を研究することができることは驚くべきことです。認知心理学と進化心理学の多くは、彼が執筆していた時点でジャーナルに掲載され、ウィルバーはジャーナルへの言及はほとんどありませんでした。しかし、ヴィトゲンシュタインは現代の最も有名な哲学者であり、オショは最も有名な精神的な教師です。彼は彼の本の中で治療の知的側面(フロイト、ベック、マズローなど)を議論する多くの時間を費やし、精神的な道が究極の治療法であることを明確に理解しているが、彼は過去30年間世界中で機能する歴史の中で最も先進的な治療コミュニティを持っていたOshoを完全に無視していることは難しい。Oshoは人間の行動理論を含む厚い本を書いたことはありませんが、彼の200冊の本と多くのビデオはオンラインで無料で、これまでのように美しく明確にそれを説明します。

彼は世界を癒すために懸命に努力しますが、ウィルバーは知的議論の風通しの良い領域であまりにも多くの時間を費やしています。ポストモダニズムとして、そして新しい時代の神秘的な宝飾として、彼は芸術、道徳、科学を統一したいと考えていますが、科学は短いわらを得ます。彼の他の本のいくつか(例えば、すべての簡単な歴史-私のレビューを参照してください)のように、彼が犯す最悪の間違い(ほぼすべての彼の情報源と地球のほとんどと一緒に)は、基本的な生物学をかじり、誤解しています。これはその本の中では明らかだ。彼は同じ失敗を持っていたオーロビンドからの引用で第7章を開始します。彼らは、進化の優生効果が自然選択によって駆動され、社会がしっかりと確立されたとき、これは停止し、それ以来完全に異性起源であるという事実を把握していません。遺伝子工学者は仕事をしていて、彼らは想像できる最も恐ろしく破壊的な突然変異体を無力な世界で解放しました。社会はエンジニアであり、私たちはその突然変異体です。全体像を把握すれば、遺伝子組み換え生物(遺伝子組み換え生物)の破壊的な影響を受ける可能性のある事に夢中になっているのは、単に愚かであり、おそらくポイヤーが議論した伝染テンプレートの操作の結果である。つまり、私たちが今までに行うすべての遺伝子組み換え作物の潜在的な破壊的効果は、人間がすでに行ったことに近づく可能性は低いです。

彼は(p 508, p519)ダーウィンは進化を説明していないと言い、おそらく彼の前でよく知られており、彼を「大規模なあいまいさ」と非難しています(彼は彼の情報源のほとんどについてこれを言うべきです!真実は、人間の行動や世界や宇宙では、進化の光を除いて何も意味をなさないし、ダーウィンよりもこれを明確にするために多くのことをした人はいないということです。彼の前の仕事は怠惰な憶測に過ぎず、深刻な科学的扱いにも近づいていなかった。ダーウィンの完全な変容とは対照的に、科学や社会に影響を与えなかったのです。

もちろん、ダーウィンは遺伝学もプレートテクトニクスも知らず、現代のネオダーウィン主義は多くの洗練を加えますが、科学と歴史の完全な誤解を示しています。ウィルバーは明らかに創造主義者の陣営に横向きに滑り込んでおり、彼の推論エンジンのどれがこれを生み出すのか推測することしかできません。彼は多くの場所で、遺伝学と進化の把握が不十分であることを示しています。例えば、p561では、ドーキンスが辛抱強く説明したように、進化の単位は彼の遺伝子であり、ウィルバーが言及する他のものはいずれも遺伝的単位として機能しない。彼は彼の書誌に「利己的な遺伝子」をリストしていますが、彼がそれを理解していないのは明らかであり、それは40歳以上で

す。ドーキンスはそれ以来、半ダースの素晴らしい作品を書いており、他の何百もの作品があります。

ウィルバーは良い生物学の本に対するアレルギーを持っているようです - 彼が引用するもののほとんどは非常に古く、他のものは混乱の古典です。彼は、非常にほとんど興味のない句読点のアイデア(主にノエマルクス主義の疑似科学者グールドと彼の共著者エルドレッジによる)のページ(p51)を無駄にします。グールドは彼の「発見」について大騒ぎするのが大好きで、彼のエネルギーは彼に多くの放送時間を得ましたが、すべてが言われ、行われたとき、彼は何も言う新しい何も持っていなかったし、彼自身の混乱に何百万人を引きずり込んだ(ドーキンス、コンウェイ・モリスと他の多くの人が指摘したように)。はい、進化は時には速いですが、何ですか?時には雨が少し、時にはたくさん雨が降ります。 を拡大すると、時間や空間で常により詳細な情報が表示され、ズームアウトすると同じように見え始めます。 グールドはまた、E.Oウィルソンに対するNeomスキャンダラスな言葉や身体的暴行を含む「決定論生物学」に対する無限の陰湿な攻撃のために、サンマルコスの「サンマルコスのスパンドル」障害を担当しました。現代の研究(例えば、ピンカーとポイヤーを参照)は、ウィルソンが進化に関するお金に正しかったことを明らかにします、残念ながら最近の「グループ選択」の採用を除いて。

(p775)というのは、単一の世界が存在しないということは、まったく不注意である。おそらく、彼は私たちが多文化、平等主義者などであるべきであることを意味するだけですが、本当に何もなければ、どうすれば生きてコミュニケーションを取ることができるでしょうか?これはポストモダニズムの醜さです。ウィトゲンシュタインと認知心理学の大量投与は適切な治療法です。Wilberもデリダもフーコー(ほとんどの人も)はだとわかる、単一の視点や人生が不可能でなければならないことを理解していません。私たちの遺伝子に存在するこの単一の視点は、私たちが考え、振る舞う方法に不可欠であり、主に哲学、政治、宗教の迷走を指示します。 of S1言語、思考、現実に対する私たちの認識の根源であるS1の認知テンプレートは、論理的には同じでなければならず、そのための証拠は圧倒的です。小さな変化でさえ、1つの遺伝子でさえ間違っ て行き、自閉症、不屈の精神または統合失調症を持っています。

ウィルバー(そして世界の大部分)がほとんど無視しているという残忍な事実は、地球を billion 破壊するプログラムを実行している利己的な遺伝子の78億(2100年までに billion (1100億かそこら)のセットがあるということです。彼らは、知的結論、平等主義的な空想、精神的な再生を通して食べる酸です。利己主義、不正直、部族主義、近視は、知的または精神的な歴史の事故によるものではありません。 彼は、精神の欠如が地球を破壊していると言い、物事にはこの側面がありますが、責任を負うのは利己的な遺伝子であると言うのははるかに重要です。同様に、彼は「生物学はもはや運命ではない」と言いますが、その逆がはるかに可能性が高いというのは簡単に防御可能な視点です。考え方の観点から歴史を理解しようとする試みは、生物学を無視し、人間の本質を否定する。 利己的な遺伝子は常にフラットランドに住んでおり、人類の歴史の中で1000人未満の人々が猿の心の圧政を悟りに逃げました。

神話と魔法に関する第6章のほとんどは時代遅れ、混乱、または単に間違っています。ほんの少しの例を挙げるために、私たちは今、子供の心理的および社会的発達の間ほとんどが組み込まれており、学ぶ必要がないことを理解しています(例えば、pg 233-4)。子は何かを分解する必要はありません - 推論エンジンはそれをすべて行います(p260)。ジョセフ・キャンベルは広範囲に引用されており、彼も私たちがどのように発展し、文化の違いと類似点を説明する方法について手がかりがなさりました(p245-50)。例えば、キャンベルは、神話は子供時代を主張することしかできないが、世界中を見て、これがどれほど間違っているかを示し、ポイヤーの「宗教が説明した」(私のレビューを参照)の読み取りはその理由を語っている。 pg 279から80の非事実について考える彼の議論は、現在、often しばしば分離または反事実モードで推論エンジンを実行していると呼ばれています。 pg 560の真ん中にある彼の歪んだコメントに(そして最後に私は説明は、テンプレートを終了すると言いたい!P580-4と591-3は、私も始めたくない疑わしいと明白な間違っ た声明でいっぱいですが、ウィルバーでthを示唆し、読者はサールの「意識の謎」またはサールやウィトゲンシュタインの私のレビューのほとんどすべてで始まります。何度も何度も、彼が彼の情報源のほとんどと科学的視点の欠如を共有することは明らかです。意識の問題や社会科学や哲学理論の問題を解決できる情報や手順は何ですか?答えを見たときにどのように答えを認識しますか?彼と彼らは決してアイデアを持たずにページや本全体のために行きます(例えば、デネットの自由の進化の私のレビューを参照してください)。

p702-下で彼は支点駆動開発について話しますが、テンプレート、合理性の論理的構造、思考の2つのシステム(そして私はここ他場所で認知と進化心理学のコーパス全体を意味します)を理解すれば、これを書き換えるか、それを排除する必要があります。 pgs 770-77のほとんどのためのDitto。 pg 771-2の拷問された散文は、テンプレート(S1反射神経)は薬物やその他の入力によって調査されているが、変更されておらず、誰も(彼らが明確に伝えることができる方法で)それらが何であるかを知っているとだけ言っているだけです。背景やインターサブジェクトの世界空間はテンプレートであり、彼らは子供の非常に早い段階で発達し、その後、生活のために固定されたままになります。イエスの神秘主義の意図的な破壊は、西洋のより高い意識に対する強力な偏見を作り出しました。彼は悟りを理解したり議論したりしていませんが、ポイヤーはこれがどのように、なぜ起こったのかを理解するための基礎を与えます

。

ウィルバーは単純な実用主義(最も大きな数に最も良い)、すなわち彼の最大のスパン(p334)のための最大の深さを受け入れます。多くの哲学、宗教、経済学のこのbasic原則は深刻な問題を抱えており、おそらく働くことができません。どの人が私たちが幸せにし、どのように幸せで、いつ(私.e、今または将来)? 現在、どのような基準でリソースを分配し、将来の人口のためにどれだけ節約し、誰がこれをどのように強制するかを決定しますか?彼は私たちの基本的な道徳的直感(すなわち、私たちが今知っているように、私たちのテンドルの操作は、私たちの誘惑のアテの操作)を呼び出しますが、私たちのBMIは本当に他の人を助けるためではなく、私たち自身と私たちの近親者(包括的なフィットネス)を助けるためであり、そして、儀式的に進んでいる数千人(または非常に霧化して数百万と言います)は、世界を実行しないでください。BMI-例えば、社会交流、連立直感、直感的な心理学などは、私たち自身の利益に役立つように進化しました(ウィルバーのように、このようにドーキングの本やウィルソンの「地球の社会的征服」の私の最近のレビューを読んでください)、いずれにせよ、現代世界の海で絶望的に、高度なエドウカチ、インスタントコミュニケーション、銃器、気分の薬物、衣服、化粧品、そして巨大な資源を提供します。

ウィルバーが歴史に取る知的または精神的なアプローチの代わりに、他の人は生態学的、遺伝的または技術的なアプローチ(例えば、ダイヤモンドのガン、細菌と鋼鉄またはPインカーズのブランクスレート)を取ります。長期的には、生物学だけが本当に重要であるように見え、私たちは毎日、人口過剰が大衆を文明化しようとするすべての試みを圧倒しているかを見ています。ウィルバーが非常に高く評価する民主主義と平等は、地球の破壊を促進するために利己的な遺伝子によって作成された手段です。新しい時代が明け、新しい人間の生物学的および精神的な進化を見ることを期待しているにもかかわらず、実際には、私たちはこれまでで最も退化した種であり、惑星は崩壊に近づいているということです。スライムから生命を押し上げ、このような本を読む素晴らしい能力を与えてくれた数十億年の優生学(自然選択)は終わりました。より健康的で知的な選択はもはやなく、実際には毎年子供達の小さな割合を生成します。自然は肉体的および精神的収差を容認しませんが、社会はそれらを奨励します。私たちのフィシカと精神的なピークは、おそらくクロマニヨンの男性、あるいはおそらくネアンデルタール人(より大きな脳を持っていた(はい、私は彼らが私たちのDNAの数パーセント以上を貢献していないようだ知っている)約10万年前でした。遺伝子工学と啓発されたオリガルヒだけが私たちが救うことができるのはもっともらしいようです。私のエッセイ「民主主義による自殺」を参照してください。

彼は(例えば、p12など)それが私たちの骨折した世界観(i.e、精神の否定)は、私たちの生態学的大惨事や物質的な商品への先入観を担当していますが、これは人間性の否定のもう一つの例です。誰も心臓病やアルツハイマー病を骨折した世界観のために見ていないが、教育や心理的操作だけで行動の基礎を変えることができると考える問題を抱えている人はほとんどいないようです。現代科学はこの見解に断固として反論する(ピンカー、ポイヤーなどを参照)。直感的な心理学テンプレートは、私たちが他の人の行動を操作できることを教えてくれますが、これらのテンプレートは数十万年から数百万年前に進化し、現代の文脈で正しい結果を出すことができないことがよくあります。N早い段階で、すべての親は、彼らが大人の性格に深く影響を与えることができると考えています(忍耐、磨きタイ、過敏性、うつ病、粘り強さ、強迫観念など)。反対に明確な証拠にもかかわらず、彼らの子供の(例えば、ピンカー)。

彼は、動物の権利の人々は、人間よりも動物を大切にし、同様に人々のニーズよりも環境を大切にすると同様に、非論理的で過剰であると考えています。これは彼のシステムでは論理的かもしれませんが、もちろん人間は通常(そしてしばしば合理的に)非論理的です。いずれにせよ、私たちが常に人間のニーズを第一に考えるならば、それは確かに平和、静けさ、美しさと正気の終わりです。

ウィルバーはピアゲットを擁護するが、彼のように彼は子供が重要なことを学ぶ必要がないことを理解していない多くの場所を示しています - 彼らは組み込まれており、それは成長する必要があります。私たちのテンプレート、すなわちS1が成熟した時間と共に変化するという証拠はないようです。私たちが学ぶことは、比較してほとんど些細なものです(i.e、コンピュータでもそれらを学ぶことができます!

彼の情報源は主に混乱と専門用語で失われますが、彼はブリリアリであり、彼の説明を読んで彼の説明と翻訳ウィルバースピークを英語に翻訳するのが気になる場合、それは通常理にかなっていません。pg 545-7で彼はホロニック生態学について説明します。ここに翻訳があります。すべての生物は自分自身に価値を持ち、生態系の他のすべての人と関係があり、私たちは霊的に目を覚まさない限りなりません。生命のウェブ(すなわち、ガイアや生態系)があり、すべてが本質的な価値を持っていますが、高い生物はより多くの価値を持ち、精神的な視点を必要とします。霊的または科学的なアプローチは単独で機能します(i.e、二元主義が悪い)。

翻訳され、それはその魅力のほとんどを失うが、それは彼のビジョンの詩と威厳を否定することは公正ではありません。しかし、これは彼がはっきりと書くことを許すものではありません。不透明度は、彼がここで扱う本のほぼ普遍的な特徴です。しかし、カツが神秘主義を否定する本を書いたとき、ウィルバーは学者の股関節(p629-31)のために一貫性がどのように過ぎたかを示すために「サーレイアン」分析を行う時間がかかりました。残念ながら、彼は本全体でこれを続けず、ハーバーマスと他の人の専門用語を使用して、他のvアググや支離滅裂なテキストを説明します(例えば、サールやヴィトゲントの代わりにハーバーマスを使用してエマーソンp633を説明します)。

米国では、拘束されていない母性からの約1億2000万人(2億5000万人)の第三世界難民は、現在、破壊のための最も強力な単一の力であり、原理主義的なヨーロッパのキリスト教徒を簡単に避難させました。しかし、すべての低クラスの人々は、集団管理に反対(または少なくとも不本意/実践できない)と、遺伝子による資源使用の数と資源使用を最大化するために、環境の荒廃に反対することに団結しています(もちろん、これに関する洞察は欠けています)。これは何百万年も前に遺伝子に固定されたときの合理的な生存戦略でしたが、今では自殺です。彼が話す精神的な再生は、「多様」や下層階級のそれではありません。

彼の見解は、主要な環境問題であるのは貧しく無知であり、これは何らかの形でフラットランドのアプローチによるものなので、目を覚ますだけで、儀式を受け、これを解決するのを助けるということです。しかし、富裕層は一人当たりの貧困層の20倍以上を破壊し、第3世界は2025年頃のCO2生産で最初の生産を通過します。しかし、貧しい人々について高貴なものは何もありません-彼らは待っているだけの金持ちです。

誰もが問題の一部であり、数学(人口の増加によって割られた資源の消失)を行うならば、産業社会の世界的な崩壊と人口の大幅な減少が起こることは明らかです。多くの人と同じように、彼は地球上で軽く生きることを提案しますが、生きること(そして何よりも再現するために)害を及ぼし、生殖が正しいままであれば、将来への希望を見るのは難しいです。政治的に正しいように、彼は権利を強調し、責任についてほとんど言う。社会が誰かを人間として受け入れるならば、彼らは世界に責任を持たなければならず、これは彼らの個人的なニーズよりも優先されなければならないという合理的な見解です。どの政府もこれを実施する可能性は低く、文明人が住みたい(またはできる)場所であり続ける可能性は低い。

私は過去10年間に取り組んできた合理性のテーブルをここに提示します。行は様々な側面または研究方法を示し、列は、理性の論理的構造(LSC)の2つのシステム(二重プロセス)を含む不随意のプロセスと自発的行動を示しており、合理性の論理構造(LSR-Searle)、行動(LSB)、人格(LSP)、マインド(LSM)、言語(LSL)、言語(LSOR)、言語(LSOR)、言語(LSOR)、哲学的な用語の意識の記述心理学(DPC)、思考の記述心理学(DPT) - 以上の、思考の記述心理学の言語(LDPT)、ここで紹介された用語と私の他の非常に最近の著作。

この表のアイデアは、Searleのはるかに単純なテーブルであるヴィトゲンシュタインの作品に由来し、P.M.Sハッカーによる人間の性質に関する3つの最近の本の広範なテーブルとグラフと関連しています。最後の9行は、主にジョナサン・セント・B・T・エヴァンスらの意思決定研究から来ています。

システム1は不本意で、反射的または自動化された「ルール」R1であり、思考(認知)はギャップがなく、自発的または審議的な「ルール」R2であり、意欲(Volition)は3つのギャップを有する(サール参照)。

私は、サールの「満足の条件に満足の条件を押し付ける」を「筋肉を動かすことによって精神状態を世界に関連付ける」に変更することで、行動をより明確に記述できることを示唆しています。話し、書き込み、そして彼の「フィットの世界の方向への心」と「世界からフィットする方向を気にする」による「原因は心の中に由来する」と「原因は世界に由来する」S1は、S2がコンテンツを持ち、下向きに因果関係(世界への心)を持っている間、上向きの因果関係(世界から生じる)と満足のいかない(表現や情報を欠いている)だけです。行動をより明確に説明する私はこの表の用語を採用しました。

私は他の著作でこのテーブルの詳細な説明をしました。

意思決定研究から

	好きになる傾向がある*	感情	メモリ	知覚	欲望	PI**	IA***	アクション / 語
サブリミナル効果	ない	はい/ ない	はい	はい	ない	ない	ない	はい/ ない
連想 (A) ルールベース (RB)	RB	A/RB	A	A	A/RB	RB	RB	RB
状況依存 (CD) 抽象化 (A)	A	CD/A	CD	CD	CD/A	A	CD/A	CD/A
シリアル (S) 平行 (P)	S	S/P	P	P	S/P	S	S	S
ヒューリスティック (H) 分析 (A)	A	H/A	H	H	H/A	A	A	A
アクティブが必要 記憶	はい	ない	ない	ない	ない	はい	はい	はい
一般的なインテリジェンス 依存	はい	ない	ない	ない	はい/ ない	はい	はい	はい
認知的ローディング 抑制	はい	はい/ ない	ない	ない	はい	はい	はい	はい
覚醒は 促進 (F) または抑制 (I)	I	F/I	F	F	I	I	I	I

S2の満足度の公共条件は、多くの場合、Searleと他の人によってCOS、表現、真実作成者または意味(または自分でCOS2)と呼ばれ、S1の自動結果は他の人(または自分でCOS1)のプレゼンテーションとして指定されます。

*設定、機能、設定、表現、可能なアクションなど

** Searleの以前の意図

*** Searleの意図の実行

**** Searleのフィット方向

*****サールの因果関係

***** (精神状態がインスタンス化されます-それ自体を引き起こしたり実行したりします)。サールはこれを因果的に自己参照と呼んでいた。

***** Tversky / Kahneman / Frederick / Evans / Stanovichによって定義された認知システム。

*****異なる場所、異なる時間 (TT) 現在の時刻と場所 (HN)